

正誤表

本文中に以下の誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

頁	誤	正
9頁 2.1-2の最後の部分	4.5-5.1章「修正版Delphi(RAND法)による合意形成」や、 4.5-5.2章「GRADE適用プロセスにおける合意形成」	4.5-6.1章「修正版Delphi(RAND法)による合意形成」や、 4.5-6.2章「GRADE適用プロセス における合意形成」
25頁 4.1-3の最後の部分	4.5-5.2.2章「Evidence to Decision (EtD) テーブル を使っ た推奨の合意形成」	4.5-6.2.2章「Evidence to Decision (EtD) テーブル を使っ た推奨の合意形成」
53項 表4.4-7 WinBUGSのURL	誤 http://www2.mrc-bsu.cam.ac.uk/bugs/welcome.shtm	正 http://www.mrc-bsu.cam.ac.uk/software/bugs/the-bugs-project-winbugs/
100項 11行目	8 件の研究における対照群リスクは、79.1% , 71.4% , 69.5% , 59.4% , 59.2% , 40.7% , 36.8%である。	8 件の研究における対照群リスクは、 100% , 79.1% , 71.4% , 69.5% , 59.4% , 59.2% , 40.7% , 36.8%である。
103項 脚注 7	8 件の研究における対照群リスクは、79.1% , 71.4% , 69.5% , 59.4% , 59.2% , 40.7% , 36.8%。	全死亡率(12ヵ月時点)に関しては、8 件の研究における対照 群リスクは、 100% , 79.1% , 71.4% , 69.5% , 59.4% , 59.2% , 40.7% , 36.8%。
104項 表4.4-25 ・全死亡(重大なアウトカム) ・全体的なエビデンスの質	深刻な不精確 ⊕⊕⊕⊕	深刻な不精確さなし ⊕⊕⊕○
139頁 例4 4行目 周期死亡率 (RR 0.40, 95% CI: 0.14 ~ 1.13) について	「中」のエビデンス	「 低 」のエビデンス
154頁 4.5-3.4a 4行目	最良推定値は、約176万円である。	最良推定値は、約 459 万円である。
160頁 表4.5-8 行:資源 列:エビデンス/説明	全死亡率(12ヶ月)に関して約176万円で、	全死亡率(12ヶ月)に関して約 459 万円で、
166頁 表4.5-9 行:必要資源量 列:リサーチエビデンス	最良推定値は、約176万円である。	最良推定値は、約 459 万円である。
166頁,280頁 EtDテーブル 各選択肢の利益と害 予期される望ましくない効果は 小さいかの判断	<input type="checkbox"/> 大きくない <input type="checkbox"/> おそらく大きくない <input checked="" type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> おそらく大きい <input type="checkbox"/> 大きい ----- <input type="checkbox"/> さまざまである	<input type="checkbox"/> 小さくない <input type="checkbox"/> おそらく小さくない <input checked="" type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> おそらく小さい <input type="checkbox"/> 小さい ----- <input type="checkbox"/> さまざまである
262項 表1 (a) 2値変数 zの定義が欠落していました。	Z= 1.96 (9 5 %信頼区間の場合)	
262項 表1 (a) 2つの比較の比 信頼区間 変数の記述に誤りが有りました。	$\frac{a/b}{c/d} e \pm z \sqrt{\frac{1}{a} + \frac{1}{n} + \frac{1}{c} + \frac{1}{m}}$	$\ln \left(\frac{a/n}{c/m} \right) \pm z \sqrt{\frac{1}{a} - \frac{1}{n} + \frac{1}{c} - \frac{1}{m}}$
262項 表1 (a) 2つの割合の比 信頼区間 変数の記述に誤りが有りました。	$\frac{a/b}{c/d} e \pm z \sqrt{\frac{1}{a} + \frac{1}{n} + \frac{1}{c} + \frac{1}{m}}$	$\ln \left(\frac{a/b}{c/d} \right) \pm z \sqrt{\frac{1}{a} + \frac{1}{b} + \frac{1}{c} + \frac{1}{d}}$
262項 表1 (b) 連続変数 平均値 1.96をtに変更しました。	平均値 ± 1.96×SE	平均値 ± t × SE
262項 表1 (b) 連続変数 平均値の差 1.96をtに変更しました。	平均値の差 ± 1.96×SE	平均値の差 ± t × SE
262項 表1 (b) 連続変数 tの定義を追加しました。	t= 自由度(n-1)における信頼係数(例95%)に対応する値 自由度が大きくなると、正規分布の値(95%信頼区間では、t=1.96)とほとんど同じであるため標本数が大きい場合は、 t=1.96を使ってもかまわない。	
262項 表1 (b) 連続変数 2群間の平均値の差 式内の√が欠落していました。	$SE = \sqrt{\frac{(n-1)*S_1^2 + (m-1)*S_2^2}{n+m-2}} \times \left(\frac{1}{n} + \frac{1}{m} \right)$	$SE = \sqrt{\frac{(n-1)*S_1^2 + (m-1)*S_2^2}{n+m-2}} \times \sqrt{\left(\frac{1}{n} + \frac{1}{m} \right)}$
354項 図4 ステップ4	NMA推定値の質を投球する	NMA推定値の質を 等級 する
文献 406頁198の項目が 欠落していました。	198 van Valkenhoef, G., Lu, G., de Brock, B., et al. Automating network meta-analysis. Research Synthesis Methods, 2012, 3 : 285 - 99	